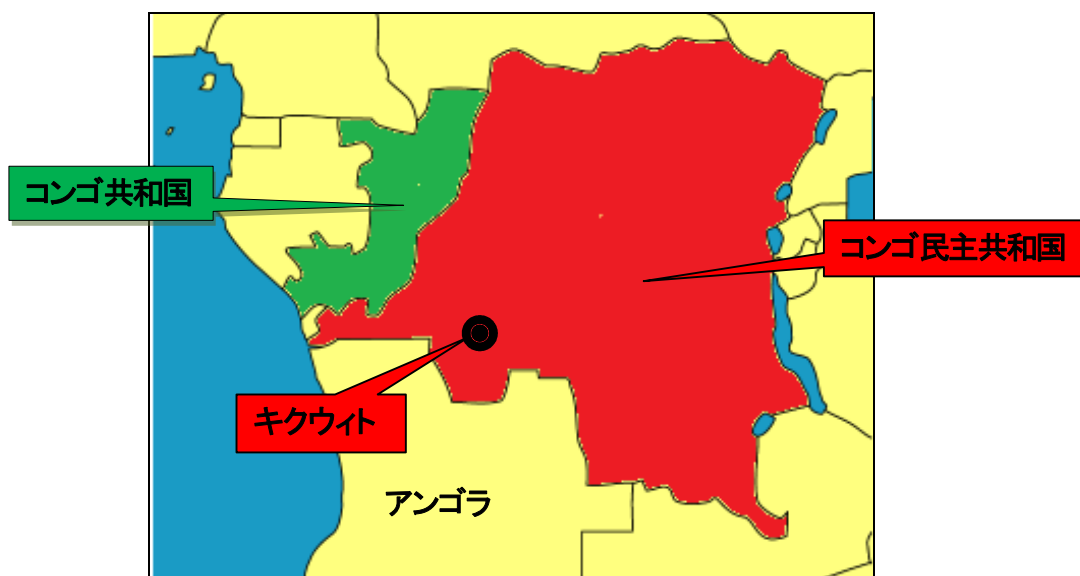


コンゴ民主共和国とコンゴ共和国でポリオが 流行

2010年12月9日 ProMED 情報(Missionary International Service News Agency)



コンゴ民主共和国の南西部、アンゴラ国境近くの都市 Kikwit キクワイトでポリオが流行しています。12月8日の報道によると、これまでに36名の患者が報告され、そのうち15名が死亡患者ということです。現在、同市は市民へ注意喚起の広報活動と緊急の大規模ワクチン接種の実施を発表しています。また、隣国のコンゴ共和国でもポリオが流行しており、WHOの推計によると、わずか1ヵ月間に200名以上の死亡患者と409名の麻痺患者が報告されています。通常、ポリオは5歳以下の子供に感染しますが、現地では成人男性への感染が主となっています。コンゴ民主共和国は、2001年から2005年にかけて野生株ポリオウイルスの発生はありませんでした。

[ProMED 調整者：コンゴ民主共和国では、2006年以降再流行し、2006年は13件、2007年は41件、2008年は5件、2009年は3件、2010年はこれまでに68件報告されています。]